



分別した後は  
どうなるの？

**立派に資源や製品として  
生まれ変わっています！**

皆さんに分別していただいたごみは、このようにリサイクルされています。

## ●可燃ごみの場合



▲ RDF

可燃ごみといってもムダにそのまま処理されているわけではありません。台所ごみ・再生できない紙・木くずなどは、府中市クリーンセンターで固形燃料化(RDF)※1され、それを福山リサイクル発電で燃やし、発電に利用されています。

RDFは、ごみのまま焼却するのに比べダイオキシン類の発生が大幅に低減されています。

また、RDF焼却後の灰は土木資材※2などにリサイクルされ、埋め立てる量もずいぶん削減されています。

- ※1 RDF化されるものには可燃ごみのほか粗大ごみの中の可燃性粗大ごみ(家具や木製ベットなど)も含まれています。
- ※2 道路の舗装に使われるアスファルトなどに混ぜられる路盤材など

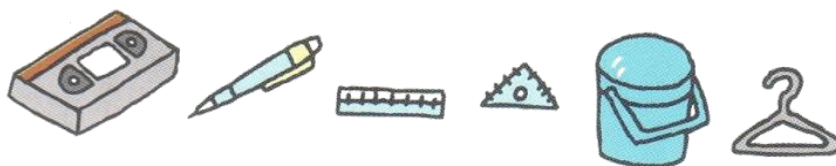
## ●容器包装プラスチックごみの場合

(容器包装リサイクル法対象品目)

容器包装プラスチックごみは、金属などの異物を取り除き、選別され、圧縮プレスされた後に再生工場へ運ばれます。

再生工場では選別→破碎などの過程を経て、粒状のペレットというものになります。

こんなものに再生されます

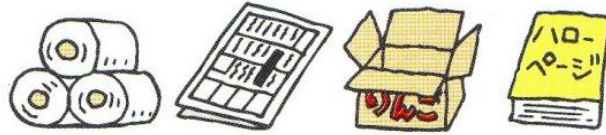


ペレットは車止め、パレット、擬木、日用雑貨、おもちゃ、文房具、ビデオ、カセットのケースなどのプラスチック製品の材料として使われています。

## ●資源ごみの場合

### 古紙類⇒

ちり紙、トイレトーパー、新聞紙、電話帳、コピー用紙、段ボールなど。



ご覧のように、古紙の大部分は製紙原料として利用されています。

### びん類⇒



びんには、回収して何度も使われるリターナブルびん(ビールやジュースのびんなど)と、一度の使用で捨てられるワンウェイびん(ドリンク剤のびんなど)があります。

●リターナブルびんの場合は、洗って殺菌した後、再び使用されます。

●ワンウェイびんは、透明、青、緑、茶色などに色分けをし、細かく砕いてカレットという原料となり、再びびんとして生まれ変わります。

### 古着類⇒

ウエス(機械の油拭き布)や反毛(布を粉碎して綿状に戻したもので、フェルトや糸の原料となるもの)に加工されたり、中古衣料として海外に輸出されています。

### 金属類⇒

例えば、飲料缶の場合、スチール缶とアルミ缶に選別されます。それらは圧縮プレスされ、再生工場へと運ばれます。

スチール缶は、主にビルの鉄筋などの鋼材に生まれ変わります。

アルミ缶は、自動車部品などの各種アルミ製品として再生されます。

## ●ペットボトル

(容器包装リサイクル法対象品目)

回収されたペットボトルは、圧縮プレスされ再生工場へ運ばれます。

洗浄→異物除去→粉碎→再洗浄などの過程を経て、フレーク状のPET樹脂に再生されます。

再生PET樹脂は、ワーキング・ウェアになったり、枕やスキーウェアの詰め綿、カーペットの裏地などに利用されます。

## ●埋立ごみの場合

府中市埋立センターへ運ばれ、埋め立てられています。



ひとりひとりの  
ちょっとした思いやりが  
大切に生かされています！

リサイクル博士